

担い手の経営のライフステージに応じた支援

(14) 「山陰キラキラCAFE inシンガポール」への参画

JAグループ鳥取（鳥取県）

| | |
|----|---------|
| 新規 | 継続 |
| ○ | (年 月) |

| | |
|----------|---|
| 1 動機(経緯) | <p>シンガポール・ジャパンレイルカフェ(※)にて、山陰(鳥取県・島根県)への外国人観光客の呼び込みを目的として「山陰キラキラCAFE inシンガポール」(主催：一般社団法人A)が開催されました。</p> <p>鳥取県信連も参画し、鳥取県・JA全農とっとり・JAしまね・農林中央金庫 岡山支店等と連携し山陰の農産物をPRすることで、輸出機会の増加による農業者所得の増大、外国人観光客誘致による地域の活性化を図りました。</p> <p>(※JR 東日本がシンガポールで運営しているカフェ。訪日旅行に関する情報発信と日本に高い関心を持つ現地の方々の交流の「場」の提供がコンセプト。)</p> |
| 2 概要 | <p>2018年7月30日(月)15時～17時(現地時間)に、スライド上映および農産物等の試食・試飲を開催し、山陰の農産物のPRを行いました。</p> <p>鳥取県：梨(夏さやか)、二十世紀梨ジュース・島根県：マスカット、干し柿、日本酒また、農林中央金庫が実施するマルシェ展示スペースへ展示しPRも行いました。</p> |
| 3 成果(効果) | <p>シンガポールイベントへの参画は、JAバンク鳥取としては初となりました。現地旅行会社約20社が来場し、旅行日程への山陰地方の組み込み等を検討する旨のお話がありました。また、試食・試飲した全ての来場者から、「とてもおいしい!」との声をいただき、インバウンドによる県内農産物の消費拡大も期待できると感じました。</p> |
| 4 今後の予定 | <p>現地JETRO等では、貿易面の留意点として現地の人は何々県産という単位では産品を求めておらず、韓国産や中国産と対抗するためには日本産を前面に出すべきだということ、取組みも単発では無く継続していくことが重要だと教わりました。</p> <p>今後とも本県農畜産物の魅力を国内外に発信し、認知度・ブランド力の向上を図り、販路拡大、地域活性化等を支援して参ります。</p> |

【展示スペースの様子】

